

## 指定管理者評価票（令和2年度分）

施設名称：瑞穂町精神障害者地域活動支援センター「ひまわり」

担当部課係：福祉部 福祉課 障がい者支援係

1 指定管理者の名称	みずほまち精神保健福祉会
2 指定管理の期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日まで 5年間
3 指定管理の目的及び求める効果	長期にわたり精神障がい者に対し、社会復帰等の支援活動を行なってきた民間活力及び経験を取り入れることにより、精神障がい者の自立支援を効率的に実施することを目的とする。
4 指定管理の業務内容	1地域活動支援センターの運営に関すること。 2施設及び設備の維持管理に関すること。
5 施設の概要	
(1) 施設及びサービスの内容	精神障がい者に対し、必要な指導及び訓練を行ない、社会復帰及び自立並びに社会経済活動への参加の促進を図るサービスを提供する。
(2) 規模	敷地面積 839.49㎡ 建築面積 143.41㎡ 構造 軽量鉄骨造平屋建
(3) 設備内容	作業室・事務室・休憩室・シャワー室・トイレ・更衣室・食堂 玄関・ホール・倉庫・面談室
(4) 設置年月及び経過年数（導入時）	平成14年4月 （導入後15年経過）
(5) 建設費用	24,885,000円
(6) 大規模改修の経緯と費用	該当なし。
(7) 維持補修・改修の予定及び時期	防火カーテン、避難誘導灯の設置 平成21年度 門扉交換 平成27年度、物置改修工事 平成27年度 非常通報装置設置、防犯カメラ設置 平成29年度 ブロック塀修繕 平成30年度
6 指定管理における具体的な目標	
(1) 利用者へのサービス水準の向上目標	利用者に個別の生活支援計画を立案し、対人関係技術、生活技術の習得を目指した訓練を行い、社会生活に復帰できることを目的に支援する。
(2) 運営の効率化に関する目標	スタッフ会議、ケース会議を定期的に行い、事業および支援内容を検討し、運営の効率化を図る。
(3) 施設維持管理費に関する削減目標	事業計画及び予算に基づき、適切な管理を行い、管理費の削減に努める。
(4) その他の目標	地域の町内会等の活動に積極的に参加することにより、精神障がい者の活動についての理解を高めていく。
7 モニタリング（利用者の意見把握）の内容	作業を行なうだけでなく、生活全般にわたる支援を受けられることで社会復帰への準備が整うことが利用者から評価されている。

指定管理評価票（令和元年度分） 個別項目・総括

施設の名称： 瑞穂町精神障害者地域活動支援センター「ひまわり」

担当部課係： 福祉部 福祉課 障がい者支援係

業務評価指標		前指定末 (H27)	H28	H29	H30	R1	R2	
協定書・仕様書で示した事項	生活指導、作業訓練等の社会適応訓練に関する業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	
	施設整備等の維持管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	
	個人情報の保護と適切な管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	
	管理運営費の削減に努めること	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施	
開館日数等 (条例で示した施設目的の達成度)	条例で示した開館日数	295	293	293	292	293	293	日
	実開館日数	283	286	294	292	293	293	日
維持管理状態	受付対応人員（常駐）	1	1	1	1	1	1	人
	日常清掃	職員及び利用者が床・窓清掃等を実施	職員及び利用者が床・窓清掃等を実施	職員及び利用者が床・窓清掃等を実施	職員及び利用者が床・窓清掃等を実施	職員及び利用者が床・窓清掃等を実施	職員及び利用者が床・窓清掃等を実施	
職員数の確保及び適切な配置 (※平成24年度分より追加)		常勤4名 適正に配置	常勤4名 適正に配置	常勤4名 適正に配置	常勤4名 適正に配置	常勤4名 適正に配置	常勤4名 適正に配置	

インプット指標（行政資源（歳出・人・物）の投入量）		前指定末 (H27)	H28	H29	H30	R1	R2	
指定前の管理経費（町支出）または指定管理料（委託料）		8,220,000	8,220,000	8,220,000	8,220,000	8,220,000	8,920,000	円
指定前の管理経費（町支出以外）または指定管理料以外の支出金額		2,568,000	2,568,000	2,568,000	2,568,000	2,568,000	3,048,000	円
職員の投入実態		105,000	105,000	105,000	105,000	105,000	105,000	円（時間*人/週）
物品の提供実態		216,864	0	30,996	0	17,820	13,420	円
インプット指標合計		11,109,864	10,893,000	10,923,996	10,893,000	10,910,820	12,086,420	
提供物品の名称と数量：		A E D一式		AEDバッテリー、AED除細動パッド	0	A E D用バッテリー	A E D除細動パッド2個	

アウトプット指標（事業の活動量、活動実績）		前指定末 (H27)	H28	H29	H30	R1	R2	
施設延べ利用者数		3,164	2,636	2,672	2,779	2,735	2,394	人/年間
実利用者内訳（町内外利用者別）	町内在住者	40	39	42	43	43	43	人
	町外在住者	※H23.10の事業移行により、対象が町内利用者のみとなる。						人
利用料収入		9,206,411	7,628,384	8,176,854	9,148,973	8,073,076	8,742,716	円
その他収入	寄附及び事業助成	183,055	119,568	60,022	51,408	118,290	50,025	円
	その他収入	532,564	1,124,032	1,403,203	6,397,721	6,279,359	781,840	円
	前年度繰越金	3,066,241	2,533,032	84,906	155,841	1,397,580	2,883,581	円
	計	3,781,860	3,776,632	1,548,131	6,604,970	7,795,229	3,715,446	円

業務収支

収入の部		前指定末	H28	H29	H30	R1	R2	円
		(H27)						
指定前の管理経費（町支出）または指定管理料		8,220,000	8,220,000	8,220,000	8,220,000	8,220,000	8,920,000	円
指定管理料以外		2,889,864	2,673,000	2,703,996	2,673,000	2,690,820	3,166,420	円
指定前の管理経費（町支出以外）または公的援助								円
利用料収入		9,206,411	7,628,384	8,176,854	9,148,973	8,073,076	8,742,716	円
その他収入		3,781,860	3,776,632	1,548,131	6,604,970	7,795,229	3,715,446	円
収入の部 合計	算定	24,098,135	22,298,016	20,648,981	26,646,943	26,779,125	24,544,582	円
	実収入	23,776,271	22,193,016	20,512,985	26,541,943	26,656,305	24,426,162	円

支出の部		前指定末	H28	H29	H30	R1	R2	円
		(H27)						
事業費		20,702,314	21,653,334	20,035,243	24,765,808	23,217,251	23,523,360	円
行事費		279,588	225,632	79,713	91,656	143,662	32,765	円
健康管理費、保険加入料		164,349	136,248	132,432	261,634	291,942	261,832	円
受注開発費		0	0	0	0	0	0	円
その他		96,958	92,926	109,756	25,265	119,869	30,288	円
支出の部 合計		21,243,209	22,108,140	20,357,144	25,144,363	23,772,724	23,848,245	円

収支差引	算定	2,854,926	189,876	291,837	1,502,580	3,006,401	696,337	円
	実収支	2,533,062	84,876	155,841	1,397,580	2,883,581	577,917	円

指定管理者自己評価 ※平成24年度分より追加

コスト削減に対する取組み	前指定末 (H27)	消耗品等は量販店で安く購入するよう心がけた。室内の温度設定について、温度計を設置して適切な温度設定を意識して実施した。機関誌や発送物に対するの発送の工夫や研修・学習会での移動費についても公共交通機関の使用および団体での移動工夫で経費削減を実施した。
	H28	昨年同様に、消耗品等は量販店で安く購入し、室内の温度設定についても適切な温度設定を意識して実施した。機関誌や発送物に対するの発送工夫及び研修・学習会での移動費についても公共交通機関の使用で経費削減を実施してきた。
	H29	事業全体の支出を抑えることができ、特に消耗品や使用料及び賃借料などは低コストのリースやエコ電源の機器等に変更し削減にも繋がった。しかし、支援に関係する経費について、特に在宅への訪問や同行受診、電話等での送信が増えたため若干増になった。
	H30	電気及びガソリン使用料について、夏季の酷暑でエアコンの使用が増えたことと、ガソリンについては、計画相談等の訪問・同行が増えたことで節減までには至らなかったが、今後もより良い環境を維持しつつ、支援の低下にならないように、様々な節減には努力していく。
	R1	節電に取り組んだが、夏季の猛暑時にエアコンの使用量が増えたためと、相談業務による自宅訪問や同行が増えてきていることでガソリンの使用量も増え、節減までには至らなかったが、今後もより良い環境を維持し、支援の低下にならないよう節減に努力していく。
	R2	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、感染拡大予防対策に対するコストは大幅に増えた。しかし、利用される方が安心して利用してもらうためには大切なコストと考えます。また、節電並びに省エネには意識し取り組んでおり、こまめに電気の消灯などは行っている。

アウトカム指標（施設・事業がもたらす効用等）

利用者の利便性改善	前指定末（H27）	行事への参加について、利用者が主体となって話し合い、検討し、自分の意見を述べることにより、集団内での自信や他者への思いやりや利用者同士の交流を通して自主性を培う時間を設けている。日々の相談も事業所のみならず、各利用者宅を訪問し行っている。さらに、新規に面談室を設け、より相談しやすい環境づくりを行った。
	H28	利用者自身が利用したい時に利用でき、さらに選択できる活動を提供していけるように心がけてきた。また、日頃より障害福祉サービスの情報提供や日常の悩みや心配ごとなどの相談窓口としていることで電話や来所されての相談等の件数も増えてきている。
	H29	施設や電話での相談などで利用したい時に利用でき、さらに選択できる活動を提供していけるように心がけてきた。また、福祉バスや公共交通などの利用のメリットを促し、徒歩や自転車での通所が大変な方へ促しをして利用率が伸びた。
	H30	利用しやすい空間と自主的に参加意識をもっていただけるように、活動空間の雰囲気を変えてみたり、SNSなどを利用して日々の活動（出来事など）をアップし、参加意欲を促せるような工夫をしている。また、サービス利用に不可欠なサービス等利用計画を立案できる態勢を整えている。
	R1	センターの活動についてはSNSを利用して日々の活動写真（出来事など）をアップし、今後の予定などの情報も提供していくことで参加意思並びに意欲へつながっている。また、新型コロナウイルスの影響もあるが、個別支援の相談から生活上の課題・不安な気持ちなどの相談が多くあり、更には何気ない日常会話から安心・安定につながる支援をしてきた。年度末からの新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、消毒、手洗い、マスクの着用を徹底した。
	R2	SNSやミーティングにより、利用者の意見を活動内容に反映させ、活動計画や活動の記録を分かりやすく示すことにより、活動への意欲と自主性の向上に努めました。基礎疾患や加齢など新型コロナ感染症の重症化リスクの高い利用者もいるため、検温、消毒などの基本的な対策を徹底しました。また、町の補助事業を利用して施設職員のPCR検査を行うなど、徹底した感染予防対策を行ない、緊急事態宣言中も施設閉鎖せず、継続利用できるよう配慮しました。
プログラム等質の改善	前指定末（H27）	作業を通して生活技能を把握すると共に、対人関係での個別支援として、各利用者の個々の思いや感情を上手に相手に伝える方法を練習する場として、コミュニケーション技能訓練を中心にソーシャルスキルトレーニングを年4回に分けて実施している。また、多様化した様々なニーズに対応できるように余暇的なプログラムの時間を増やした。そのことによって利用者がより自主的に活動を行えるような環境に改善した。
	H28	利用者が主体となるカリキュラムやイベントが作っていただけるように聞き取りを日頃からおこない、利用者が中心になって企画実現をしてきたことで達成感や自信等につながる経験をしていただくことができた。
	H29	毎月利用者からカリキュラムやイベントに対して、希望や改善が必要な意見を聴きとりをおこない、新たな活動や体験ができるような取り組みをしてきた。一人ひとりの思いに寄り添い実現できたことで自信等につながる経験をしていただくことができた。
	H30	利用者と定期的にミーティングを行い、その中で利用者から「やってみたい事」「改善してほしい事」などの意見を聞き取り、実現をさせて、利用者主体の活動になるよう自主性を高めて行けるよう取り組んだ。
	R1	下請け作業を週2回にしたことで、利用率が安定してきたことから継続的な利用につなげることができ、新たに余暇活動として「調理実習」や自主製品として「ハンドメイドアクセサリー」を取り入れ、マンネリ化しないような活動提供もしてきた。
	R2	コロナ禍により施設を閉鎖することなく事業継続し、利用者にとって安心できる居場所を提供することを最大の目標とし、外部講師やボランティアの協力が得られない時期でも利用者の気持ちが塞いでしまうことのないよう、活動内容を工夫しました。利用者の主体性や参加意欲を高めるため、定期的にミーティングを行い、利用者の「やってみたい事」「改善してほしい事」などの意見をプログラムに反映させました。

利用者の満足度 (アンケート等客観的もの)	前指定末(H27)	利用者からは「ひまわり」のような場所があつてよかったという意見が寄せられている。その中身としては、いつでも相談にのってくれる。友達ができた。楽しい時間が過ごせる。などである。相談室が新しく出来たことにより、相談できる場所を選べ、また新しい相談室は静かで落ち着いて相談できるとの声が上がっている。	
	H28	自分のペースで利用していただけるようになり、参加してみたいカリキュラムの選択が出来るようになった。さらに、利用者の交流の場として友達関係の構築につながり余暇での交流できるきっかけになっていた。また、就労に向けて生活リズムづくりへの練習ができ、就労系事業所に移ることが出来る方も多くいた。	
	H29	「作業の活動が増えたことで多少の工賃がもらえ大勢で一緒にすることができて楽しい。」さらに「単純な作業なので、失敗もなくできることがうれしい。」また、「自分たちが提案されたことが実現でき多くの方が参加され、楽しんでもらうことができたのでやってよかった。」など達成感ややりがい、自信につながっている。	
	H30	「ひまわりに来て、楽しい」「相談できるので助かる」「仕事があつて嬉しい」などの感想を多く聞く。一日の平均利用率から10名ぐらいになっており年々増えてきていることから、利用者の居場所・活動場所になってきている。	
	R1	相談にのってくれる方や相談場所があることへの安心につながる声や、ひまわり以外での活動場所が少ないことから、居場所的なひまわりの空間があることでも安心につながる声を聞く。令和2年度に利用者アンケートを実施する予定。	
	R2	今まで自宅に閉じこもっていたりしていたが、ひまわりに来たことで社会参加している実感があるという意見と共に、ひまわりに来ることで緊張が取れるといった意見や安心感を感じるなどと言った意見が多くありました。	
安全管理等 ※平成24年度より追加	前指定末 (H27)	事故・苦情対応	損害保険の加入と苦情窓口の設置
		事故防止策	職員の増員で4対1での対応
		避難訓練等	年1回の総合訓練と定期的な部分訓練
	H28	事故・苦情対応	損害保険の加入と苦情窓口の設置
		事故防止策	職員の4対1での対応
		避難訓練等	年1回の総合訓練と定期的な部分訓練
	H29	事故・苦情対応	損害保険の加入と苦情窓口の設置
		事故防止策	職員の4対1での対応及び施設内空間の整備
		避難訓練等	年1回の総合訓練と定期的な部分訓練
	H30	事故・苦情対応	損害保険の加入と苦情窓口の設置
		事故防止策	職員の4対1での対応及び施設内空間の整備
		避難訓練等	年1回の総合訓練と定期的な部分訓練、町主催防犯講習会参加、救命講習参加
	R1	事故・苦情対応	損害保険の加入と苦情窓口の設置
		事故防止策	職員の4対1での対応及び施設内空間の整備
		避難訓練等	年1回の総合訓練と定期的な部分訓練、町主催防犯講習会参加
R2	事故・苦情対応	損害保険の加入と苦情窓口の設置	
	事故防止策	職員の4対1での対応及び施設内空間の整備	
	避難訓練等	年1回の総合訓練と定期的な部分訓練	

その他

		前指定末 (H27)	H28	H29	H30	R1	R2		
建設経費（元利返還費用）	建設費	24,885,000	24,885,000	24,885,000	24,885,000	24,885,000	24,885,000	円	
	償還利息	0	0	0	0	0	0	円	
利用者1人あたりの経費 （指定管理料等及び指定管理料 等＋建設経費）	利用者数	3,164	2,636	2,672	2,779	2,735	2,394	人／年間	
	管理経費または指定管理料等	11,109,864	10,893,000	10,923,996	10,893,000	10,910,820	12,086,420	円	
	管理経費または指定管理料等／人	3,511	4,132	4,088	3,920	3,989	5,049	円／人	
	（管理経費または指定管理料＋建設費）／人	11,376	13,573	13,402	12,874	13,088	15,443	円／人	
修繕費（協定等に基づく指定管理者負担上限額：20万円／年）	指定管理者が行なった修繕	件数	0	0	0	1	1	0	件
		金額	0	0	0	49,680	8,100	0	円
		内容	0	0	0	エアコン修繕	エアコン修理	0	
	町が行なった修繕	件数	2	0	2	1	0	0	件
		金額	1,837,404	0	984,186	54,000	0	0	円
		内容	門扉修繕、物置改修工事	0	非常通報装置設置、防犯カメラ設置	コンクリートブロック塀修繕	0	0	
立ち入り検査状況		0	0	0	0	0	0		
遵法検査 ・法で定められている場合、回数を記載。 ・それ以外の場合、法定外と記載。また、施設独自で同様の検査・指導を受けている場合は、その旨を記載。	冷暖房設備（法定外）	0	0	0	0	0	0		
	消防法設備点検（法定外）	消防署指導実施	消防署指導実施	消防署指導実施	消防署指導実施	消防署指導実施	消防署指導実施		

総括

			H28	H29	H30	R1	R2	
経費比較 （指定前と指定後）  ※実経費では、「職員の投入実態」及び「物品の提供実態」を除外	算定	指定後	10,893,000	10,923,996	10,893,000	10,910,820	12,086,420	円
		前指定末（H27）	11,109,864	11,109,864	11,109,864	11,109,864	11,109,864	円
		比較	-216,864	-185,868	-216,864	-199,044	976,556	円
	実経費	指定後	10,788,000	10,788,000	10,788,000	10,788,000	11,968,000	円
		前指定末（H27）	10,788,000	10,788,000	10,788,000	10,788,000	10,788,000	円
		比較	0	0	0	0	1,180,000	円
評価	前指定末（平成27年度）							
1次評価 担当課	町内において精神障害に特化した事業所である地域活動支援センターは、一般就労に結びつかない方の居場所として大きな役割を果たしている。精神障がい者の症状の特性を理解している経験豊かな職員が対応することにより、生活のリズムにも波があったり、コミュニケーション能力にも差のある利用者、個別相談・助言等を行い精神の安定を図ることで、対人能力も向上させている。計画相談を充実させたことにより、本人のみならず、家族等の相談が増えてきている。たとえば、無年金者の年金取得の相談や福祉サービスの資源の情報提供及び相談などしてきた。							
2次評価 指定管理者選定委員会	【主な効果】 一般就労に結びつかない方の居場所として大きな役割を果たし、適切に施設の維持管理がなされている。計画相談を充実させたことにより、本人のみならず、家族等の相談が増えてきている。 【主な指摘】 精神障がいをお持ちの方の自立支援のための相談業務の充実と、引き続き、利用者が利用しやすい施設運営を期待する。							
評価	平成28年度（1年度目）							
1次評価 担当課	町内において精神障害に特化した事業所である地域活動支援センターは、一般就労に結びつかない方の居場所として大きな役割を果たしている。精神障害の症状の特性を理解している経験豊かな職員が対応することにより、生活のリズムにも波があったり、コミュニケーション能力にも差がある利用者にも個別相談・助言等を行い精神の安定化を図ることで、対人能力を向上させている。平成28年度から利用者個々の個別支援計画を作成することにより、個々の能力を引き出す支援を行っている。							
2次評価 指定管理者選定委員会	【主な効果】 一般就労に結びつかない方の居場所として大きな役割を果たしている。利用者個々の個別支援計画を作成し、個別相談・助言等を行い精神の安定化を図ることで、対人能力を向上させている。 【主な指摘】 専門的な知識をいかし、利用者の方々が自主的に活動を行えるような環境づくりと施設運営を期待する。							

評価	平成29年度（2年度目）
1次評価 担当課	町内において精神障害に特化した事業所である地域活動支援センターは、一般就労に結びつかない方の居場所として大きな役割を果たしている。精神障害の症状の特性を理解している経験豊かな職員が対応することにより、生活のリズムにも波があったり、コミュニケーション能力にも差がある利用者に対し、個別相談・助言等を行い精神の安定化を図ることで、対人能力を向上させている。また、利用者からの提案を基に様々な企画を実施し、個々の能力を引き出す支援を行っている。
2次評価 指定管理者選定委員会	【主な効果】 一般就労に結びつかない方の居場所として大きな役割を果たしている。生活のリズムに波があったり、コミュニケーション能力にも差がある利用者に対し、個別相談・助言等を行い、精神の安定化と対人能力の向上に努めている。 【主な指摘】 精神障がい者の居場所としての役割、利用者の立場に立った施設の在り方等、その果たす役割は大きい。引き続き利用者の方が自主的に活動できる環境づくりに期待する。
評価	平成30年度（3年度目）
1次評価 担当課	町内において精神障害に特化した事業所である精神障害者地域活動支援センター「ひまわり」は、一般就労に結びつかない方の居場所として大きな役割を果たしている。精神障害の症状の特性を理解している経験豊かな職員が対応することにより、生活リズムにも波があったり、コミュニケーション能力にも差がある利用者に対し一般相談として個別相談・助言等を行い精神の安定化を図ることで、対人能力を向上させている。また、利用者からの提案を基に様々な企画を実施し、個々の能力を引き出す支援を行っている。
2次評価 指定管理者選定委員会	【主な効果】 一般就労に結びつかない精神障がい者の居場所として、大きな役割を果たしています。生活リズムに波があったり、コミュニケーション能力にも差がある利用者の個別相談・助言等を行い、精神の安定化と対人能力の向上に努めています。 【主な指摘】 精神障がい者の居場所として、また、利用者の立場に立った施設運営を進めるなど、その果たす役割は大きい。引き続き、地域活動への積極的な参加とともに利用者の意向に沿った施設運営と自立支援活動の推進に期待します。
評価	令和元年度（4年度目）
1次評価 担当課	町内において精神障害に特化した事業所である精神障害者地域活動支援センター「ひまわり」は、一般就労に結びつかない方の居場所として大きな役割を果たしている。新たな作業を取り入れたことにより利用人数を増加させることができた。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、消毒、手洗い、マスクの着用を徹底のほか、従来のソーシャルスキルトレーニングのカリキュラムに「体調管理や服薬」などのテーマを加えるなど身近な生活課題に取り組んだり、精神的に不安定となった利用者の相談に応じている。
2次評価 指定管理者選定委員会	【主な効果】 一般就労に結びつかない方の居場所として大きな役割を果たしている。従来のカリキュラムに「体調管理や服薬」など、身近な生活課題に取り組んだり、精神的に不安定となった利用者の相談に応じている。 【主な指摘】 精神障がい者の居場所として、利用者の立場に立った施設運営など、その果たす役割は大きい。引き続き、より良い施設運営及び施設管理に期待する。
評価	令和2年度（5年度目）
1次評価 担当課	町内において精神障害に特化した事業所である精神障害者地域活動支援センター「ひまわり」は、一般就労に結びつかない方の居場所として大きな役割を果たしている。 新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して行い、緊急事態宣言中も施設を閉鎖せず事業継続し、精神的に不安定となりやすい利用者の相談支援にきめ細かく応じることにより、利用者の病状悪化を最小限とすることができている。 法人として社会保険労務士との顧問契約により就業規則などの規定整備を行うなど、業務改善に積極的に取り組んでる。
2次評価 指定管理者選定委員会	【主な効果】  【主な指摘】